

第1回 四條畷市田原活性化対策本部会議 概要

日時：平成29年11月21日（火） 午後7時～午後9時

場所：四條畷市立グリーンホール田原1階 なるなるホール

出席者

相談役：上田原区長、下田原区長、緑風台区長

本部委員：20人

東 修平、旭恵美里、岩城令子、大橋秀樹、奥田進久、奥村 博
相良佐知子、内藤 壽、中西洋右、西川益美、平松 茂、寶谷敏男
前原園代、南佐幸子、森川陽子、森田祥彦、安田成弘、山本敏秀
笹田耕司、開 康成（敬称略）

事務局：3人 塩見、森田、楠

傍聴者：3人

四條畷市長挨拶

- 1 委嘱状交付式
- 2 会議次第

議事1 委員紹介

各委員2分以内での自己紹介

議事2 副本部長の選出

本部長より会議を複数回かさねる中で、改めて指名することを提案。

<全委員の異議なし>

議事3 データでみる田原地域の現状について

事務局より配布資料について説明

<主な議論の内容>

委員：アンケートの回答率が37.7%は低いと感じる。回答をしていない住民は満足または無関心ということだと考える。このデータをもとに方向性を決めることはできるのか。

本部長：地域の皆様のご協力もあり、市が実施する他のアンケートより高い回答率になっている。しかし3分の2に近い方が回答されていないことは認識している。

委員：田原地域全体では高齢化率が四條畷全体と比較して5%低いと説明があったが、地域により高齢化率に差があるのでは。

本部長：ご指摘のとおり市内全体でも高齢化率に地域差がある。田原地域の詳細についてはアンケート結果の最終ページに示すとおり、地域別の高齢化率を認識することは重要。

委員：アンケート結果の地区分けについて、田原台1丁目～5丁目、6丁目～9丁目、緑風台、さつきヶ丘にまとめられているが、各地区により住んでいる年齢層などや立地により地域差があると考え。詳細のデータが必要。

本部長：結果を町丁目別にすべてをお示しするとページ数が膨大となるため、まとめたことはご理解いただきたい。町丁目別のものを事務局で用意させる。

委員：アンケートについての議論に終始しているが、この会議では観光、企業誘致、教育の充実なども含めていくのか。

本部長：当然視野に入れている。今後の議論については、短期、中期、長期と取組を分けアンケート結果をもとにしつつ議論を進めていきたい。

委員：現在ある専門学校や飯盛霊園の桜などの既存資源を活かしてはどうか。また近隣市である生駒市との連携事業も考えては。

本部長：要綱にある「独自性に富んだ…」の部分がまさしくそれにあたる。生駒市との連携については、両市の企画調整担当課が窓口となり検討を進めている。

委員：私たちの活動の一つで天の川で採取した水生生物をグリーンホール田原で展示をさせてもらっている。このような生物が生息するところが近くにあることや地域の歴史についてどのくらいの住民の方が知っているのかを知りたい。また、自治会や子ども会への加入率のデータも必要では。

本部長：帰属意識については分析が必要。自治会、子ども会への加入率については、事務局で確認する。

委員：地域の付加価値を得るには、コミュニティバスのダイヤなどの不便を取り除き、若い世代が住みたい街になることだと考える。

本部長：市では公共交通会議を立ち上げ、公共交通全般について議論を始めるところ。活性化対策本部会議との連携し利便性の向上を図っていきたい。

委員：地域で行われているイベント等を知らない住民が多い。自分たちの住む街に関心を持ってもらうことが必要。

本部長：今年の7月から田原通信を発行している。地域のイベントの周知に活用していただきたい。またこの会議から田原通信の記載内容についても提案いただければと思っている。

委員：アンケート結果をもとに議論を進めていては、個人的な要望に応えるだけになってしまう。私は田原地域全体での活性化策とし①小児科専門病院の誘致②農業の振興③田原地域のブランド化④小中一貫教育⑤学童保育を学習の場にするという5点を提案する。

本部長：短期、中期、長期の時間的な軸と福祉、教育、環境などの分野的などを分け、しっかりと話し合っていきたい。したがって会議ごとにテーマを設け密度の濃い議論を続けようとする。次回の会議では、まずは短期的な部分について主に進める予定。

事務局：第2回田原活性化対策本部会議の進め方についての説明

次回開催日時：平成30年1月11日（木）午後7時
グリーンホール田原 なるなるホール

3 広報誌特集号用 写真撮影